# ~突撃★ドメーヌ最新情報!!~

# ◆VCN°61 ジョン・シュミット

生産地方:フィトゥー

## 新着ワイン3種類♪

## VdF ペー・キャトル 2015 (赤) 【コルクなし,王冠】

グルナッシュとグルナッシュの亜品種リヤドネ・プルが混植されている樹齢 70 年を超すブドウからつくられた ワイン。2015 年は、日照りによる影響で収量が前年よりも 25%落ちた。前回は全房のブドウと除梗したブドウを サンドイッチ状にしてマセラシオンを行ったが、今回は収穫したブドウの状態が良かったので、全房のままスミマ セラシオン・カルボニックで仕込んでいる。出来上がったワインは、口当たりが非常にチャーミングで、収量が落 ちた分前年よりも中身のぎっしりと詰まったストラクチャーのあるワインに仕上がっている! アルコール度数は 12%しかないが、危うさのある官能的な果実味に溶け込んだミネラルの主張が本当に半端ない! これぞまさにヴィエーユ・ヴィーニュとシスト土壌のなせるわざだ!

## VdF マメット 2015 (赤) 【コルクなし,王冠】

ジョンの持つ一番古い樹齢のカリニャンからつくられたワインで、カリニャンノワールが主体だが、それ以外にカリニャングリ、カリニャンブランなど 7 種類の異なるカリニャンの亜種が混植されている。2015 年は極度の日照りでほとんど雨が降らなかったにもかかわらず、さすがは樹齢 100 年を超えるブドウだけあって、水不足の影響はほとんどなかった。今回はペー・キャトル同様にスミマセラシオン・カルボニックで仕込んでいる。出来上がったワインはカリニャンとは思えないほどエレガントでフィネスがある! 危うさはあるが、艶やかな果実味とシスト土壌から来る、刺すような硬いミネラルとの塩梅が超絶妙で、口に入れた途端思わず唸ってしまう! このマメットが最後のヴィンテージだと思うと本当に残念でならない…。今飲んでも美味しいが、できれば早く飲まずにあと何年か寝かせてほしいワインだ!

#### VdF アベラ 2015 (赤) 【コルクなし,王冠】

2015年は、日照りにより収量は少なかったが、ブドウの品質は良かった。前回はシラー60%とフジトゥのブドウ 40%のアッサンブラージュだったが、今回はシラーの量が少なかったため、相対的にフジトゥのブドウの割合が60%とシラーよりも高い。収穫したブドウは非常に状態が良かったので、全房をロングマセラシオンで仕込んでいる。出来上がったワインは、スミマセラシオン・カルボニックで仕込んでいることもあり、酒質はとてもスマートでエレガント!艶やかな果実味に溶け込んだ滋味深いミネラルの塩梅も良く、余韻に長く残る繊細なタンニンの収斂味が何とも心地よい!ワインの危うさはほとんどなく、まさにフィトゥーのグランヴァンと言えるような素晴らしいワインだ!

#### ミレジム情報 当主ジョン・シュミットのコメント

2015年は、日照りが厳しくブドウが早熟な年だった。晩冬から春にかけてのスタートは穏やかで、適度な雨にも恵まれた。開花も無事に終わり、この時点で病気は一切なく豊作が期待された。6月に入ると雨はほとんど降らず、乾燥した天気が収穫終わりまで続いた。樹齢 26年のシラーは樹齢が若いため、猛暑と日照りの影響を大きく受け収量も激減したが、その他のブドウは暑さと乾燥に強いヴィエーユ・ヴィーニュゆえ、幸いシラーほど大きな影響は受けなかった。収穫日は前年よりも1週間ほど早く、また日中の暑さを避けるために全てナイトハーヴェストを行った。

## 「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

2017年の1月に紹介して以来実に4年ぶりのリリースとなるジョン・シュミット!だが、残念ながら今回のワインが最後のヴィンテージとなる…。

2012年に父のドメーヌ「マリア・フィタ」から畑の一部を譲り受け自らのドメーヌを立ち上げたジョン。立ち上げ当初から前途多難な船出だったが、2014年にワインスタイルを一新しまさにこれから軌道に乗ろうとしていた時に、残念ながらドメーヌを閉めることとなった。彼は、若い頃にリュベロン地域自然公園内の森林や果樹を管理する仕事に携わっていた経験もあり、将来的には畑のまわりの環境を自然と調和させるために、果樹園や森林を整え、鳥や羊、馬を飼ってほぼフェルムのような生活を実践しようと試みていた。(写真①)だが、村の行政計画の一環で風力発電の風車を設置するという話が突如浮上し、設置候補地にジョン



写真①ジョンが目指したフェルムスタイルの畑

の父が名乗りを上げ、ジョンの知らないところで畑売却の話が進み、知らない間にジョンの畑が候補地にされてしまった。大きなショックの中、この流れに抗えず、彼は泣く泣くドメーヌを閉めることとなってしまった。

強面だが実際はピュアで心優しく、一生懸命自然を愛したジョン。彼のワインを飲んでみると分かるが、心温まる優しさがあり、つくる人の人柄が良く出ている。



写真②樹齢80年を超すリヤドネ・プルの畑



写真③が樹齢 141 年のカリニャン・グリの木

写真②は、2017 年夏に彼が送ってくれた樹齢 80 年を超すリヤドネ・プルの畑、そして写真③が樹齢 141 年のカリニャン・グリの木だ。リヤドネ・プルは今回リリースする VdF ペー・キャトル 2015、そしてカリニャン・グリは VdF アベラ 2015 に入っていて、畑の表土は薄くブドウの根がスレート状の片岩層(シスト)にダイレクトに食い込んでいるような、そんな過酷なコンディションの中で育ったブドウだ。どちらもヴィエーユ・ヴィーニュなのにまだまだ生命力があり圧倒される。久々に写真を見ると「こういう樹齢のある畑を我々の世代が有機で守っていかなければいけない!」と熱く語っていた彼を思い出す。

私がジョンと最後に会ったのは 2017 年の 7 月。その後、彼の畑に訪問する望みが叶わなかったのが、今は一体 どうなっているのだろうか…。もしかしたら、もう二度と復活のない、畑のエキスが詰まった今回のワインたち。 ジョンの熱い思いが皆様に届きますように!

**※弊社HP「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ**